

第1章 序 論

1.1 アンケートの目的

平成15年の本校のJABEE受審を契機に、高等教育機関としての教育内容および成果のエビデンスを得るため、技術者教育認定会議の第5小委員会が平成14年度に卒業生および企業を対象にアンケート調査を実施した。

5年後に行われた本アンケートも、JABEE再受審のためのエビデンス調査という側面もあるが、本来の目的は、これまで本校から巣立った専攻科修了生および本科卒業生が、どのような処遇・思いで仕事をし、一方で社会（企業または事業所）は、本校専攻科修了生・本科卒業生をどのように評価しているのかを確かめることにより、今後の徳山高専の教育活動の指針を示すところにある。

1.2 今回の各アンケートの実施方法と概要

専攻科修了生および本科卒業生のアンケートにあたっては、高城会（徳山高専同窓会）の協力を得た。以下に各アンケートの内容を示す。

（1）専攻科修了生アンケート

アンケートの内容と結果は付録に示す。対象は全専攻科修了生（平成9年3月修了～平成19年3月修了）223名であり、回答者は60名（回答率26.9%）であった。

専攻科修了生アンケートは、以下の5つのパートで構成されている。

1. 個人情報に関する項目
2. 現在の状況に関する項目
3. 高専7年間の教育に関する項目
4. 高専専攻科に関する項目
5. 専攻科教育目標について

（2）本科卒業生アンケート

アンケートは、結果とともに付録に示す。対象は全本科卒業生（昭和54年3月卒業～平成19年3月卒業）3,327名であり、回答者は583名（回答率17.5%）であった。

本科卒業生アンケートは、以下の4つのパートで構成されている。

1. 個人情報に関する項目
2. 現在の状況に関する項目
3. 高専5年間の教育に関する項目
4. 教育目標について

（3）企業アンケート

アンケートは、結果とともに付録に示す。対象は960の企業・事業所・地方公共団体その他で、回答は268件（回答率27.9%）であった。

企業アンケートは、以下の4つのパートで構成されている。

1. 修了生、卒業生の採用状況
2. 高専の教育目標に対する意見
3. 専攻科修了生・本科卒業生の能力評価
4. インターンシップ制度と今後の採用について

1.3 各章の概要

以下、第2章では、平成9年から送り出している専攻科修了生（以下、修了生）の現状について分析し、第3章では、昭和54年の第1期から平成19年までに卒業した本科卒業生（以下、卒業生）の現状と比較している。また、第4章および第5章では、企業から寄せられた修了生および卒業生に対する意見をそれぞれ分析した。第6章では、本校が掲げている6項目の教育目標について社会（企業）の意見をまとめた。そして、第7章、第8章では、社会（企業）や卒業生から寄せられた生の声をもとに、今、高専に何を求められているのかを考察した。各章での主な分析内容を以下に掲げる。

第2章と第3章では、修了生・卒業生の現状をテーマに修了生および卒業生の各アンケートの結果から、以下の分析を行った。

- 1) 修了生・卒業生の就職先の傾向分析
- 2) 職場における修了生・卒業生の自己評価
- 3) 平成14年度実施アンケートにおける結果との比較、検討

第4章と第5章では、修了生・卒業生に対する社会的評価をテーマに企業アンケートの結果から、以下の分析を行った。

- 1) 修了生、卒業生の勤務評価
- 2) 徳山高専の教育に対する評価
- 3) 大学生との比較した場合
- 4) 高専生の英語について
- 5) インターンシップおよび今後の採用について

第6章では、高専の教育目標の評価を行うため、企業、修了生および卒業生アンケートの結果から本高専が現在掲げている教育目標の6つの項目について分析を行い、教育内容の満足度、教育目標の達成度を確認した。

第7章と第8章では企業、修了生そして卒業生の声から以下のような点についてまとめた。

- 1) 在学生へのメッセージ
- 2) 教員へのメッセージ
- 3) 高専教育への提言

(担当：張間)